令和8年11月10日　市長定例記者会見

総務部 DX 推進チーム
電話：082-420-0944

まちの DX 推進に向けたデジタルリビングラボの始動

～ミライノ⁺を起点に、人とデジタルがつながる共創の場を形成します～

1　概要

本市では、地域課題の解決や新たな価値創造につなげる「イノベーション創造のまち」の実現を目指し、人材・知見・課題をつなぐデジタルネットワーク（ＤＮＷ）の形成を進めている。

11 月より、市民、企業、大学、地域団体、行政がつながり、学び、共創する実践の場として「デジタルリビングラボ」の取組を始める。

2　課題と目指す姿

（１）　課題

東広島市には、大学、企業、地域団体をはじめ、専門性が高く知見のある人材が多く存在している。一方で、次のような課題がある。

- 地域課題と人材・知見が十分につながっていない
- デジタル活用について気軽に相談し、実践できる場が不足している
- 「やりたい人」と「仲間」が出会い、挑戦につながる機会が不足している

（２）　目指す姿

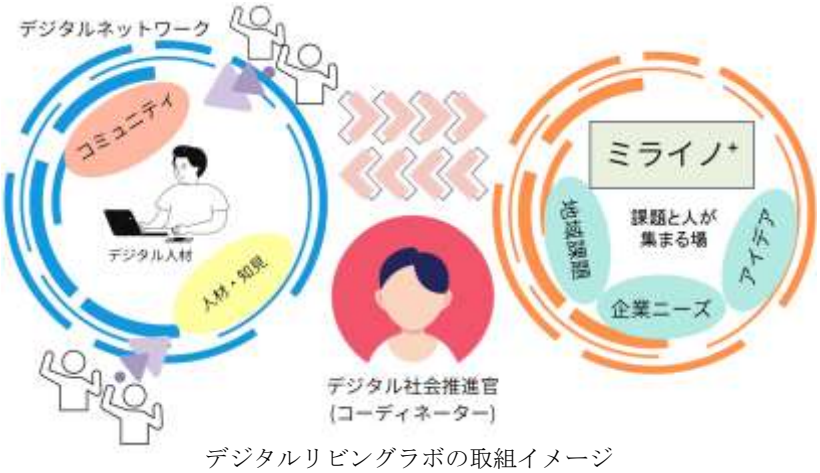
① デジタルネットワーク

地域に存在する人材や知識、活動の潜在力を最大限に生かすため、デジタルを基盤として多様な主体のつながりを創出し、継続的な交流と共創を通じて新たな課題解決や価値創造につながるデジタルネットワーク（ＤＮＷ）の形成を目指す。

② デジタルリビングラボ

地域や企業、市民からの相談を受け止める「まちなか DX の窓口」として、寄せられた相談に対し、デジタル人材の知見を生かすことで、具体的な取組へとつなげる。

これにより、「やりたい人」と「仲間」が出会い、新たな挑戦や地域課題の解決を生み出し、東広島発の活動やプロジェクトが次々と生まれる「まちの DX」の実現を目指す。



デジタルリビングラボの取組イメージ

３　リビングラボの取組

東広島イノベーションラボミライノ⁺は、新たなビジネスや地域づくりなどにチャレンジする多様な人が集まるイノベーション創出拠点である。本事業では、ミライノ⁺をフィールドとして活用し、毎週水曜日（13:00～17:00）にデジタル社会推進官を配置する。デジタル社会推進官は、「相談」「交流」「挑戦」の３つの機能を通じて、人と人、人と課題、人とデジタル技術をつなぎ、地域課題の解決や新たな挑戦の創出を支援する。

また、ミライノ⁺の特性を生かしながら、「やりたい人」と「仲間」が出会える場づくりを進め、デジタルリビングラボのモデルとなる取組を実施する。

（１） つながりサポートデスクの運営

デジタル社会推進官を中心として、次のような相談を受け付けるとともに、必要に応じて人材や関係機関とのマッチングを行う。

・デジタル活用に関する気軽な相談
・やりたいことの実現に向けたアイデア相談
・地域活動や企業活動の困りごと相談
・仲間づくりや連携先探しの相談
・実証事業や新たなチャレンジの相談

（２） コミュニティ形成

セミナーや勉強会、交流会等を通じて、次のようなコミュニティ形成を進める。

・人と人とのつながりづくり
・地域や世代を超えた交流の促進
・挑戦する人を支える仲間づくり
・地域課題やアイデアを共有できる場づくり

（３） 市内展開に向けたモデル構築

ミライノ⁺での活動で得られた知見やネットワーク、運営手法等を整理・検証し、市内展開に向けたモデルの構築を進める。

４　スケジュール

時期	内容
令和８年 11 月４日から	相談窓口運営開始
令和８年 11 月末から	セミナー・交流イベント開催
令和９年度以降	市内各地への展開を検討

※スケジュールは関係者との調整により変更となる場合があります。